

高精白時のリン・カリウム削減率を高位安定化する栽培条件

利用対象：指導者、普及指導員

- ◎ 腎臓透析患者は全国に 30 万人程度存在し、リン・カリウムの摂取が厳しく制限されています。このため、三重県農業研究所は民間企業と共同で通常の白米よりリン・カリウムを 40%削減した「低リン米みえのゆめ」を開発し、販売してきています。しかし、原料米によってリン・カリウムの削減率が異なるため、製品品質の安定化のための原料米栽培条件の確立が求められています。
- ◎ 「みえのゆめ」を高精白（精米歩合 83%）した際のリン及びカリウムの削減率は、玄米千粒重と高い正の相関を示し、千粒重が大きい原料米ほど高まること、また、出穂後日数 25 日～50 日の範囲において、出穂から刈取りまでの日数が長いほど高まることを明らかにしました。
- ◎ このため、玄米千粒重を高める肥培管理と、リン・カリウムの削減率を高める適期収穫を行うことで「低リン米みえのゆめ」のリン及びカリウムを高位安定的に削減できる原料米生産が可能となります。

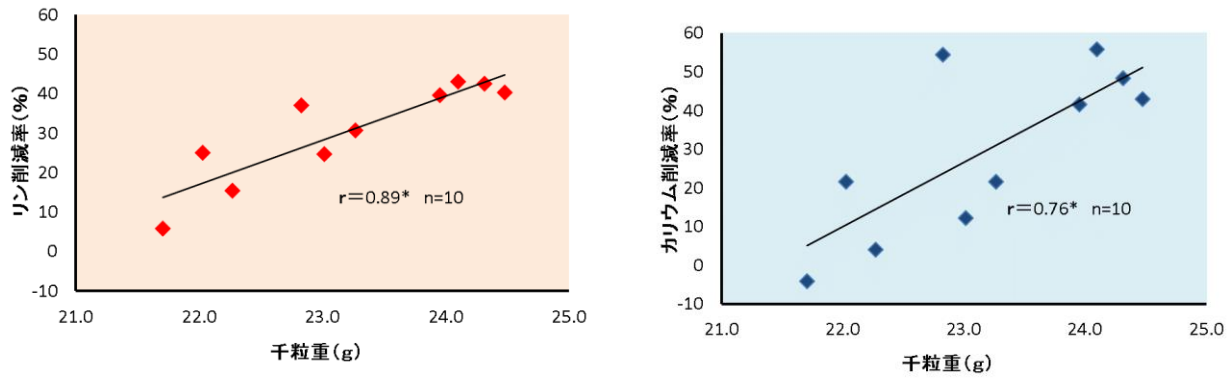


図1 玄米千粒重と高精白時(精米歩合 83%)のリン・カリウム削減率の関係

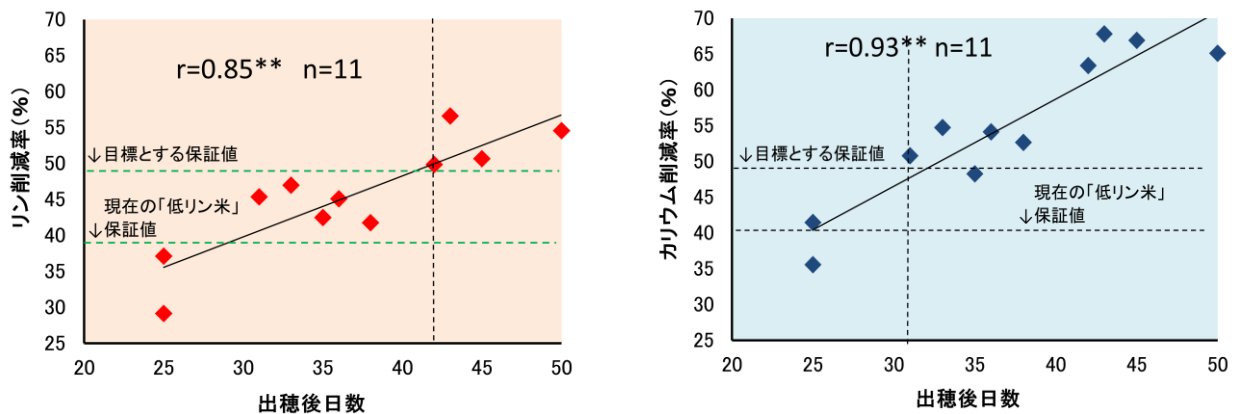


図2 刈取り時期(出穂後日数)と高精白時(精米歩合 83%)のリン・カリウム削減率の関係

お問い合わせ先	三重県農業研究所 フード・循環研究課 電話 0598-42-6361
参考になる資料	http://www.conceptengine.com/patent/application/2015188849 http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm